2026年11月26日

各　　位

会　社　名　株式会社パワーソリューションズ
代 表 者 名　代表取締役社長　高橋　忠郎
（コード番号：4450　東証グロース）
問合わせ先　執行役員経営企画本部長
　　加藤　康男
電 話 番 号　03-6878-0284

2026年12月期通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、2026年２月13日に公表しました、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．通期（2026年１月１日～2026年12月31日）の連結業績予想の修正

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	10,000	714	516	490	217	69.62
今回修正予測（B）	10,220	917	694	704	217	69.43
増減額（B－A）	220	202	178	213	0	
増減率（%）	2.2%	28.4%	34.5%	43.6%	0.0%	
(ご参考)前期実績(2025年12月期)	8,099	829	713	703	388	127.50

※ EBITDAは、営業利益＋償却費（減価償却費、のれん償却費等）として、算出しております。

２．修正の理由

EBITDA、営業利益および経常利益は、売上高の増加が一定程度となる一方、グループ全体での高単価案件へのシフトと人的交流の促進により粗利益が大幅に増加することで、各利益が予想を大幅に上回ることを見込んでおります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、据え置きを見込んでおり、当社グループが保有するRPA関連サービスの販売用ライセンス在庫の将来の回収可能性を検討した結果、第４四半期に特別損失（減損損失）1.3～1.4億円を計上する見込みとなります。

３．特別損失（減損損失）の計上について

当社グループは、UiPath関連ビジネスの成長を見込み、過年度において複数年にわたるライセンスを仕入れてまいりました。当該ライセンスの一部については、契約期間である４年間のうち、最終年度(2027年４月～2028年３月)に費用負担が大きくなる契約条件となっております。加えて、生成AIの急速な進展に伴い、企業における業務自動化ニーズや技術選定の考え方が変化しており、UiPathライセンスの販売は当初想定していた成長率を下回る状況となっておりま

す。こうした市場環境の変化を踏まえ、当社グループはUiPath関連ビジネスの成長戦略を見直し、ライセンス販売数量の拡大を中心とした取り組みから、顧客課題の解決に直結するデリバリーサービスの強化や、他のソリューションとのクロスセル拡大を重視する方針へ転換しております。今後は、生成AIによる柔軟な判断・推論と、RPAによる高い再現性・安定性を組み合わせた業務自動化を推進し、お客様の生産性向上に貢献するとともに、中長期的な事業成長を目指してまいります。

こうした事業環境の変化や事業方針の転換を踏まえ、当該ライセンスの契約条件に基づく費用負担の構造および今後の販売見通しを勘案した結果、保有するライセンス在庫について減損損失を計上することといたしました。

なお、当該複数年契約については、今回の減損損失の影響を含めても、契約期間全体では十分な利益を確保できる見通しです。本件は、契約期間全体の採算性とは別に、事業環境の変化および将来の販売見通しを踏まえ、現時点で保有するライセンス在庫の会計上の評価を見直したことによるものです。

当社グループは今後、複数年契約に係るライセンス仕入れにおいて、販売計画との整合性や在庫リスク管理をこれまで以上に重視するとともに、年度ごとの費用負担の平準化にも配慮し、収益性および資産効率の向上に努めてまいります。

（注）上記の予想数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上